

第37回 広島・長崎子ども会親善交歓会



広島・長崎子ども会親善交歓会が8月10日(土)～12日(月)の日程で行われました。

広島団総勢44名を、長崎市から児童、生徒と指導者を合わせた52名がお迎えし、長崎市、諫早市などで交流を行いました。子どもたちは被爆体験講話を聴いたり、原爆資料館を見学するなどして平和について考えました。また、新たに出会った友だちとの友情を深めるなど、充実した3日間を過ごしました。

楽しかった交歓会

やまだ きり
高城台小 5年 山田 輝

私が、この広島・長崎子ども会親善交歓会に参加して、心に残ったことや学んだことがたくさんあります。特に学んだのは、市内探索です。私は、長崎に住んでいるけど、あまり大浦天主堂やグラバー園に入ったことがなかったので、とてもいい勉強になりました。特に孔子廟には、今まで一度も入ったことがなかったので、とても勉強になりました。また、広島の人とも一日目で仲良くなれたので、とてもうれしかったです。二日目の夜のキャンプファイヤーでは、いろいろなレクリエーションをジュニアリーダーの人が準備していて、とても感謝の気持ちを持ちました。被爆体験講話や折鶴奉納等の係の仕事もきちんとできて、とてもうれしかったです。広島・長崎子ども会親善交歓会の三つのねらい「友達をたくさん作ろう」「平和について考えよう」「リーダーになろう」すべてこの広島・長崎で、きちんとできたと思います。この広島・長崎で、前より平和について考えるようになりました。原爆資料館を見学して、一番びっくりしたのは、今もたくさんの核兵器がたくさんあることです。アメリカやロシアがたくさん持っていることが分かりました。市内探索で楽しかったのは、新地中華街です。なぜかという、長崎の名物のカステラ、角煮まんじゅう等いろいろなお店が、たくさんならんでいました。わたしは、来年もこの、広島・長崎に参加して、今度は広島町の町のみりよくを見つきたいです。

初めて参加してみた

いりき けんしょう
淵中 1年 入来 拳聖

ぼくは、始めて広島・長崎子ども会親善交歓会に参加しました。始めは知らない人ばかりで友達ができるかいろいろなことが不安でしたが、大人の人やリーダーが話しかけてくれて、事前研修会で友達がたくさんできて本番が楽しみになりました。

広島のお友達に長崎のいい所をたくさん知って帰ってほしいなど思い事前研修会を頑張りました。平和学習では献花するのを初めて見て感動しました。ぼく達が考えた市内探索をしました。広島のお友達は、楽しめたかなー？トルコライス、チリンチリンアイス美味しいと思ってくれたかなー？広島の人、長崎の人とたくさんお友達になれて嬉しかったです。不安で参加したけれどとっても楽しくて夏休みのいい思い出になりました。来年もぜひ参加したいと思います。お世話してくれたみなさんありがとうございました。

今回の広長を通して

のなか きき
純心女子高 1年 野中 紀希

私は今回の交歓会でとても勉強になりました。

まず1つ目は友達と仲良くする大切さです。今年の広長では長崎と広島の子もだけで集まることなく本当にみんな仲良く笑顔が絶えず私自身もとても楽しかったです。

そして2つ目に協力する大切さです。今年の交歓会もみんな一人ひとりが協力してキャンプファイヤーなども成功させることができました。

最後に感謝する大切さです。おいしいご飯を作ってくださった方や市内探索でお世話になった方いろいろな方々に感謝の気持ちを持てたと思います。

本当にとってもいい勉強になりました。ありがとうございました。



矢上地区青少年健全育成協議会 活動事業報告

矢上地区青少年健全育成協議会 会長 武本 家彦



矢上地区青少年健全育成協議会は、矢上小学校、高城台小学校、2校区の活動事業を主として行っております。

主な年間行事は地区懇談会(500~700名)、少年主張大会(600~700名)、餅つき大会(1,000名程度)、矢上地区スポーツ(キンボール)大会などを始め、100人パトロール、子どもを守るネットワーク、コミュニティスクール等、地域、学校、保護者が一体化し、地域性を保ちながら、家庭の絆、住民同士の絆の向上に努めております。

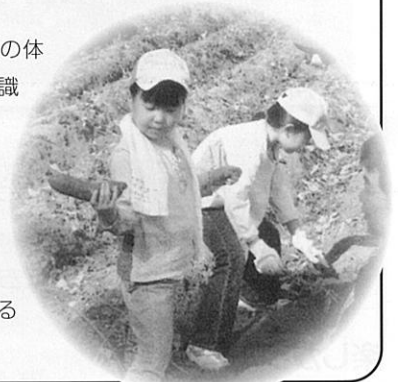
特に学校コミュニティスクール活動は情操心を養い、人の優しさ、人の痛みが理解出来る人づくりを目指し、声かけ、挨拶運動など、心のゆとり育成に努めています。

高城台コミュニティスクールは、「学習支援活動部会」「安全活動部会」「交流活動部会」の3部と「放課後子ども教室」を運営・活動しています。特に、安全活動部会は、パトロール活動や登下校時の見守り・立哨活動、あいさつ運動を、自治会、老人会、婦人会、PTA、交通安全母の会、少年補導委員、民生委員、ネットワークパトロールといった諸団体のご協力を得て実施しています。高城台小学校を取り巻く環境は大勢の人によって整備され、子どもたちにとって安全な、安心して楽しく過ごせる場所となっています。

また、地域や保護者の有志の皆様が図書ボランティア、学習支援、放課後子ども教室、料理や工作などの体験活動等に積極的に関わってくださっています。子どもたちの好奇心を満たすとともに、体験を通して、知識を生かすことを学ぶよい機会を作っていただいています。

学校行事や学年の学習活動においても、地域人材のご協力が欠かせません。老人会との昔遊び・花の苗植え、自治会との芋さし・芋ほり、地域の方の案内や解説により、自分たちの町の歴史や文化を理解し、学ぶ「矢上さるく」、地域での「森づくり」など、子どもたちの学習に必要な、人、もの、こと、そして時間を提供していただいています。

このように、子どもたちの成長を、多くの皆様が温かく見守り、励ましてくださっていることを実感する日々です。



育成連・市子連 親睦スポーツ大会

7月13日(土)に長崎市民体育館で親睦スポーツ大会を行いました。今年もキンボールを行い、18チーム約130名が優勝杯を目指して汗を流しました。

それぞれの育成協や公民館区内で結成したチームによる熱戦はとても盛り上がりを見せました。

今回見事優勝に輝いたのは「福田中育成協」の皆さんでした。おめでとうございます。

来年度もたくさんの選手の皆さんの参加をお待ちしています!



編集後記

今回、広報紙発行に携わり専門委員の皆さんの取り組み姿勢を拝見しながら青少年育成協の仕事・活動について改めて考えてみた。

自分なりに育成協とは、地域の青少年が健全に成長できるように、非行や事件・事故に遭わないように、地域ぐるみで活動を行うものだと考えており「かつて日本では子どもを社会や地域が育てていた」また「親はなくとも子は育つ」と言われたように、大切なのは信頼にもとづく人間関係による環境が大きいと思っている。

昨今の子どもたちをめぐる諸問題を解決するためには、学校・家庭・地域社会の子育てについて、学校・家庭では「教育」を、地域では「共育」を行うこと。

そして三者がそれぞれの役割と責任をしっかりと果たしつつ連携・協力そして協働して行う「協育」が必要だと思っている。

親だけでなく、子どもたちを愛しいと思い、責任を持って見守る人がそばに居ることを子どもたちが知ること、安心・安全・信頼感を持てる事が大切である。

それが家族でもあり、地域での子育てだと思う。

広報紙を手にした皆さんが、地域の温もりや喜びを感じていただき、明日への活力となれば幸いです。